

有言実行が求められる ECB

本稿は、PGIM フィクスト・インカムの欧州チーフ・エコノミストであるキャサリン・ナイスが 7 月 15 日に執筆したブログ “THE ECB NEEDS TO FOLLOW THE TALK WITH THE WALK” の内容を PGIM ジャパン株式会社が要約したものであり、情報提供のみを目的として作成されたものです。

<要旨>

- ECB は上下対称性があり中期的に柔軟性を持った 2%のインフレ目標を導入
 - 市場では FRB のような「柔軟な平均インフレターゲット」を期待する向きもあったが、PGIM フィクスト・インカムは ECB の今回の見直しを過小評価すべきでないと考える
 - 最近の経済活動の回復やセンチメントの改善による追い風が相俟って、予想よりも早くインフレ率が ECB の目標値に近づく可能性がある
- 持続的なインフレ目標の達成には、新たな枠組みにおける実効性のある政策執行が鍵
 - 7 月会合でフォワードガイダンスが変更される予定であり、インフレ率の実績と紐づけることで時期尚早な金融引締めが回避される見込み
 - 早ければ 9 月会合で資産購入プログラム（APP）の規模拡大が決定されると予想され、パンデミック緊急購入プログラム終了後も同程度の規模が維持されることで、APP 運用の柔軟性が高まる
- 新たな枠組みは、欧州域内の慢性的に弱いインフレに対処する新たなパラダイム
 - 政策金利は、当面にわたり現状水準が維持される見通し
- フォワードガイダンスの強化、無期限の量的緩和、条件付き長期資金供給オペ（TLTRO）が緩和政策を補完

データの出所(特に断りのない限り) : PGIM フィクスト・インカム、2021 年 7 月 15 日現在。

当レポートは、金融機関、年金基金等の機関投資家およびコンサルタントの方々を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

留意事項

本資料に記載の内容は、PGIM フィクスト・インカムが作成した“THE ECB NEEDS TO FOLLOW THE TALK WITH THE WALK”をPGIMジャパン株式会社が要約したものです。PGIMフィクスト・インカムは、米国SECの登録投資顧問会社であるPGIM インクのパブリック債券運用部門です。

本資料は、プロの投資家を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

本資料は、当グループの資産運用ビジネスに関する情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の勧誘又は販売を目的としたものではありません。また、本案内に記載された内容等については今後変更されることもあります。

本資料に記載されている市場動向等は現時点での見解であり、事前の通知なしに変更されることがあります。また、その結果の確実性を表明するものではなく、将来の市場環境の変動等を保証するものでもありません。

本資料に記載されている市場関連データ及び情報等は信頼できると判断した各種情報源から入手したのですが、その情報の正確性、確実性について当社が保証するものではありません。過去の運用実績は必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

本資料は法務、会計、税務上のアドバイスあるいは投資推奨等を行うために作成されたものではありません。

当社による事前承諾なしに、本資料の一部または全部を複製することは堅くお断り致します。

“Prudential”、“PGIM”、それぞれのロゴおよびロック・シンボルは、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクおよびその関連会社のサービスマークであり、多数の国・地域で登録されています。PGIMジャパン株式会社は、世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルの一員であり、英国プルデンシャル社とはなんら関係がありません。

PGIMジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第392号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会
PGIMJ83308